

科目名	都市政策論	科目分類	■専門科目群 (第1グループ) □総合科目群 (第2グループ)
			法律学科 □必修 ■選択 学科 □必修 □選択
英文表記	Urban Policy	開講年次	□1年 ■2年 □3年 □4年
ふりがな	くすやま ひろあき	開講期間	□前期 ■後期 □通年 □集中
担当者名	楠山大暁	修得単位	2単位
授業のテーマ	都市や地域経済が抱える諸問題とその解決策を考える。		
到達目標	都市や地域経済が抱える問題を理解し、自分なりの解決策(公共政策)を考えられるようになる。		
授業概要	高度経済成長期に形成された日本の都市では、様々なインフラの老朽化という問題に直面しています。さらに追い打ちをかけるようにして襲いかかってくる少子高齢、人口減少という耐え難い社会構造の変化にも私たちは対処しなくてはなりません。これからの都市は、地域経済は、どうあるべきでしょうか？ 本講義ではそもそも都市とは何かというところから出発して、これらの問題を分析するとともに、その解決策(公共政策)を考えていくこととします。		
授業計画			
第1回	ガイダンス		
第2回	都市とコミュニティ		
第3回	地域間人口移動		
第4回	都市システムモデルと最適人口規模		
第5回	都市計画		
第6回	福祉国家		
第7回	都市内土地利用の分析		
第8回	中間テスト		
第9回	NIMB 理論		
第10回	コンパクトシティ		
第11回	ケア・コンパクトシティ		
第12回	都市政策と福祉政策の統合		
第13回	地域包括ケアシステム		
第14回	地方政府の役割		
第15回	地方財政システム		
第16回	定期試験		
授業時間外の学習	1. 授業前にプリントの問題に目を通してください。理解できる箇所、理解できない箇所を明確にしてください。(2時間程度) 2. 授業後に、プリントの復習をしっかりと、すべてを理解できるようにしてください。(2時間程度)		
履修条件 受講のルール	行政学Ⅰ、公共政策論を履修していることが望ましい。 教科書を購入してください。		
テキスト	佐藤泰裕(2014)『都市・地域経済学への招待状』有斐閣ストゥディア		
参考文献・資料	諸富徹(2018)『人口減少時代の都市』中公新書		
成績評価の方法	【中間テスト(40%)、定期試験(60%)】 上記評価項目を基にして総合的に判断します。 ・出席回数が規定に満たない場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は、試験を受ける		

	<p>ことができません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出席確認時に不在だった場合は原則としてその回は欠席とします。 ・授業中に無許可で退出した場合は欠席とします。 ・授業の理解、および予習復習が充分であるかを確認するため、第8回授業時に中間テストを行います。
オフィスアワー	<p>毎週月曜日・金曜日 9:00～10:30</p> <p>※これ以外の時間帯は必ず事前に予約してください。</p>
成績評価基準	<p>平成28年度（2016）以降入学した学生 秀(100～90点)、優(89～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)</p> <p>平成27年度（2015）以前に入学した学生 優(100～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)</p>
学生へのメッセージ	<p>身近な社会問題に広く関心を払いましょう。</p>